

和歌山県庁文化国際課メールマガジン★NO.6★

目が覚めると、少し肌寒く感じる季節になりました。

一月程前には、うだるような暑さに辟易していたのが嘘のように、一転、過ごしやすい気候となり、私、海出（うみで）も日頃の運動不足を解消すべく、先日からジョギングを始めたところです。

さて、今回のメルマガでは、中国・韓国の秋の行事等を紹介するほか、トルコ語の国際交流員として先日まで勤務されていたフセイン・メテ・アイドゥンさんからのお別れのメッセージを紹介させていただきます。

昔から「読書の秋」と言われますが、皆さまも、秋の夜長にゆったりとメルマガ No.6 をお楽しみ下さい。



◆文化国際課だより◆



県内の高校生・大学生 11 名が 8 月 17 日～24 日の 8 日間にわたり、ブルネイ・ダルサラーム国を訪問しました。ブルネイ青少年交流は、平成 21 年に第一回目の派遣を実施し、昨年引き続き、今回の派遣が三回目となりました。

在ブルネイ日本国大使館の表敬訪問やウル・テンブロン国立公園でのネイチャーツアーに加え、現地学生との交流やホームステイなどを通して、日本とは異なるイスラム文化や現地での生活を経験しました。

参加者からは「英語が話せるようになって戻ってくるとホストファミリーと約束したので、この経験を機に英語の勉強に力を入れたい」、「ブルネイの豊かさを知るとともに、今まで気付かなかった日本の豊かさを再認識することができた」、「断食とハリラヤ（断食明けのお祝い）の両方を体験し、親族同士の親密さや、伝統文化が大切に守られていることに感動した」、「facebook 等を活用し、今後も交流を続けていきたい。」などの声が聞かれました。

後日、和歌山県ホームページ内インターネット放送局にてブルネイでの模様の一部を動画配信する予定です。ぜひご覧下さい。

<インターネット放送局> <http://www.pref.wakayama.lg.jp/nettv/>

ブルネイ・ダルサラーム国の概要

ボルネオ島北部に位置するイスラム教国。石油・天然ガスの埋蔵量が豊富で、その輸出で経済状況は安定。ASEAN の一員。

首都：バンドルスリブガワン

面積：5,765 平方キロメートル

人口：約 41.4 万人（2010 年）



* 国際交流員による異文化紹介 *

【中国】中秋節（ジヨオンチュージェー、中国語では「中秋节」と記す。）

◎中秋節（ちゅうしゅうせつ）とは？

中国では旧暦の八月十五日（中国で旧暦の数字は漢字で表記する）のことを中秋節と言います。この日は秋季（秋季は七、八、九の3ヶ月）と八月（旧暦の八月は30日間）の真ん中に当たる為、当時の人々の間により「中秋」と名付けられました。中国人はこの日の夜空に浮かぶ明るい満月を「団結、円満」のイメージと捉え、一家だんらんの象徴と見なしており、「団円節」（トアンユアンジェー。中国語では「团圆节」と記す）とも呼んでいます。



◎食べ物——月餅<ユエピン>

中国の中秋節と言えば、「月餅」なしには語ることはできません。「月餅」とは中国のお菓子の一種で、月に見立てた丸く、平たい形をしています。また、丸い形は円満のイメージで、一家団欒を意味するとも言われています。中に詰める餡は、たくさんの種類があり、基本的にはナツメや小豆餡、ハスの実など、甘いものがメインとなりますが、近年、茹でた「咸蛋」（シエンタン。アヒルの卵を塩水に漬けたもの）の黄身を入れたものが人気を集めています。ちなみに、月餅を食べる習慣はおよそ1300年以上も前の唐の時代から受け継がれてきたようで、食べると歴史も感じることができるのではないのでしょうか。

◎風習

このように、中秋節は一家だんらんを象徴する日なので、家族全員が集まって月餅や果物を食べながら、月を祭ったり、月見をしたりするのが一般的です。また、家の前に灯籠（とうろう）を飾ったり、子供達が提灯（ちょうちん）を提げて遊んだりする習慣もあります。



月餅

クイズ! 海外豆知識! ~中国編~

中国では、旧暦の八月十五日を「中秋節」と呼びますが、それ以外の言い方もいくつかあります。下記の中で、この節句に当てはまらないのはどれでしょう？

- ① 月夕 ② 八月節 ③ 月節 ④ 蟬八節

【韓国】秋夕（チュソク、韓国語では「추석」と記す。）

◎秋夕（チュソク）とは？

みなさんは韓国の代表的な祝日の一つである「秋夕（チュソク）」をご存じでしょうか？韓国は日本と違って正月も秋夕も旧暦で数えるのが一般的で、秋夕は旧暦の8月15日です。ちなみに今年の秋夕は新暦で言うと9月30日で、前後合わせて三日間が秋夕の祝日となります。

◎食べ物

秋夕には「ソンプジョン」というお餅を食べますが、「ソン」は「松」、「ピョン」は「お餅」を意味します。この餅を蒸すとき松の葉と一緒に蒸すことからこのような名前が付いたそうです。昔から秋夕にはその年に収穫した果物や穀物を食べることで、みんなで収穫の喜びをかみしめていました。



ソンプジョン



カンガンスルレ

◎風習

秋夕を代表する伝統的な遊びには「カンガンスルレ」があります。カンガンスルレは女性達が踊りながら歌を歌う遊びで、秋夕の月夜に行われています。

（カンガンスルレは1966年に韓国の重要無形文化財に、2009年にはユネスコ無形文化遺産に登録されました。）

また、韓国では秋夕のお休みが近づいてくると帰省する人々の姿をよく目にします。「民族大移動」とも言われ、ソウルから帰省する人達で高速道路の渋滞がもっとも激しくなる時期ですが、それに関わらず、韓国では大勢の親戚が集まり秋夕のお休みを賑やかに過ごすのが一般的です。

クイズ! 海外豆知識! ~韓国編~

韓国では昔、子供が生まれると子供の健康を願って家の前に「クンジュル」という縄を飾る慣習がありました。その縄には悪いものを追い出し、健康で長生きできるように願いを込め、いくつかの飾りが付けられていましたが、クンジュルに付けられてなかったものは次のどれでしょうか？

①炭

②唐辛子

③糸

④松の葉



英語ABCコラム③

★ Keep in touch.

手紙やメールの最後でよく使われる表現です。“keep”は「～を続ける」、「in touch」は「接触する、連絡をする」なので、「連絡を取り続ける」という意味になります。命令形ですが、「連絡取り合おうね。」というニュアンスのフレンドリーな表現です。“Let's”や“Please”をつけることもあります。海外の友人とのメールのやりとりの際など、ぜひ使ってみてください。

ちなみに、メールでよく使用する顔文字(*^_^*)ですが、海外では emoticon【emotion+icon】と呼ばれ、一般的に使用されるのは日本のものとは違い、顔が横向き;->になっています。日本人にとっては、そのことを知らないと人の顔には見えないかもしれないですね。これはフォントの違いにも関連しています。海外の方宛てにメールを送るときには、日本語フォントの全角文字や記号を使用すると相手には表示されないこともあるので注意しましょう！

▼トルコ語国際交流員としての任期を終えたメテさんに、この一年を振り返っていただきました。

Hoşçakal Sevgili Wakayama ~さようなら 大好きな和歌山~

和歌山県庁での仕事、そして、和歌山での生活が終わりました。「あっ」という間でしたが、和歌山で過ごした一年間はどのような感じだっただろうか・・・

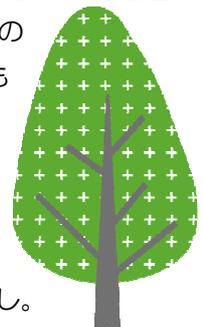
1890年に串本町樫野崎の周辺で起きたエルトゥールル号遭難事件はトルコと日本の友好関係のきっかけとして知られており、和歌山県は、両国の友好関係の原点となっています。だから、日本は自分の第二の祖国だと思っている私にとって、和歌山県庁で働くことになったのは奇跡みたいなことだったと言えます。

以前初めて日本に来た時に、1年間留学したことがあります。その時期の生活と和歌山の生活は非常に違っていました。まず、私はトルコにいた時も、留学した時も都会に住んでいました。これに対して和歌山市はわりと小さな街です。それと、和歌山に来て、初めて一人で暮らすことになりました。和歌山に来るまで周りに友達が多かった私にとって最初は少し寂しかったですが、それもいい経験になりました。誰にも頼らず自立して生活することによって、精神的に強くなったと思います。その後、和歌山でも友達がたくさん出来て、楽しい時間を過ごせました。

私にとって県庁での国際交流員としての仕事は、前から目指していたトルコと日本の架け橋になるための第一歩だったと考えています。初めて和歌山県庁で働くトルコ人として、様々な翻訳や通訳を始め、トルコに関わる様々な業務をしました。トルコから和歌山に来る観光客のために和歌山の情報が載っているパンフレットをトルコ語に翻訳することも重要な仕事のひとつでした。中学校で英語を教えたり、英語訳の仕事を手伝ったりもしました。その中で、私にとって最も印象深く、やり甲斐を感じたのは県内の学校や博物館などで出張講座や講演を行ったことです。子供や生徒を始め、たくさんの日本の方々にトルコの歴史や文化、観光及び二国間の違いや両国の友好関係について伝え、より多くの方にトルコを知ってもらうことができ、とても楽しく、幸せでした。

せっかく慣れた和歌山と和歌山の素敵な方々から離れたことをとても寂しく感じています。トルコの代表として和歌山県庁で働いたことに大きな誇りを感じています。心から思うことは、一年間住んだ和歌山は私の日本でのふるさとなりました。もう自分は和歌山人だと言えます。和歌山弁もしゃべれるようになりました。

忘れられない和歌山、そして和歌山の皆さん。またお会いする時まで。



トルコ関連イベントのご案内

和歌山県立博物館特別展「よみがえる軍艦 エルトゥールル号の記憶」

和歌山県は、日本トルコ両国友好の原点となったエルトゥールル号事件の舞台であることから、和歌山県立博物館において、9月8日（土）～10月11日（木）の会期で、特別展「よみがえる軍艦 エルトゥールル号の記憶」を開催しています。

この特別展は、明治時代に串本町大島沖で遭難したトルコの軍艦・エルトゥールル号の水中調査により、近年発見され引き揚げられた資料を、発掘調査団長トゥファン・トゥランル氏の監修・指導により、発掘調査の状況も含め、和歌山で初めて本格的に紹介します。9月30日（日）、10月6日（土）には、学芸員による展示解説「ミュージアム・トーク」も行われます。この機会に、122年前に志半ばで尊い命を落としたトルコの殉難将士の思いと懸命に救助活動を行った串本・大島の人々のあたたかさに触れてみませんか。



会 期：平成24（2012）年9月8日（土）～10月11日（木）（30日間）

休 館 日：毎週月曜日

〔 9月17日（月・祝）・10月8日（月・祝）は開館
9月18日（火）・10月9日（火）は振替休館 〕

会 場：和歌山県立博物館 企画展示室

和歌山市吹上1-4-14 TEL:073-436-8670（代表）

開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は4時30分まで）

入 館 料：一般500円（団体400円）・大学生300円（団体250円）

障害者手帳をお持ちの方、高校生以下及び65歳以上の方は、県内外を問わず無料です。

関連行事：ミュージアム・トーク（学芸員による展示解説）

9月30日（日）、10月6日（土） 13:30～ 県立博物館企画展示室

特別展案内（ちらし） <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/022100/turkiye/ihinten/flyer.pdf>

和歌山県立博物館ホームページ <http://www.hakubutu.wakayama-c.ed.jp/>

<エルトゥールル号事件>

1890年(明治23年)9月16日夜、オスマン帝国最初の親善訪日使節団を乗せた軍艦「エルトゥールル号」が串本町檜野崎沖で 台風による強風と高波により座礁し、沈没しました。この事故により500名以上の尊い命が奪われる大惨事となりましたが、事故の知らせを聞いた大島島民の懸命の救助活動により69名を救出することができました。この遭難に際し、大島島民が行った献身的な救助活動が、それからトルコの人々の間で語り継がれています。

この「エルトゥールル号」の日本訪問と遭難は、その後の日本とトルコの友好関係の原点とされています。



エルトゥールル号殉難将士慰霊碑



エルトゥールル号

○和歌山県職員による「異文化体験記」○

～中国山東省済南市から その2～

『中国での生活』

私が日本を離れて5ヶ月が過ぎようとしています。この間、日本の家族・知人らとはメールなどで定期的に連絡を取っていましたが、その際、「中国での生活はどんなの？」という質問を受けることが何度かありました。私も中国に渡る前は、現地の生活様式が日本とどう違うのか、疑問に思ったことを覚えています。そこで今回は、山東省済南市での私の生活について、皆さんにお伝えしたいと思います。

まず、生活環境についてですが、私の住んでいる済南市は山東省の省都であり、鉄道、道路などの交通インフラや、電気・水道などの住環境は日本とほとんど変わりありません。（ただ、水道水を直接飲むことはできません。）また、私の住居の近くには大型スーパーがあり、乳製品、肉、魚介類などの食料品は勿論、生活用品や電化製品に至るまで大抵のものを揃えることが可能です。ですので、私は中国で生活を始めて以降、「〇〇がないので困った」、ということが一度もありません。

しかし、食文化については日本と大きな違いを感じました。中国の料理は日本と比べ、油やんにく、ショウガ、唐辛子などが多く使われており、味付けの濃い料理が多い印象です。一方、調味料として醤油が使われている料理もあり、日本人の舌に合うものも沢山あります。ちなみに、済南市でも日本料理は人気があり、日本料理や回転寿司の店をちらほらと見かけます。また、スーパーや屋台でも寿司が売られています。

私自身は中華料理を食べることが多いのですが、消化のことも考え、できるだけ温かい飲み物やスープも一緒に摂るようにしています。

ところで、中国では温かい飲み物が好まれる、というイメージが私にはありましたので、それについても少しお話ししたいと思います。中国では、日本の飲食店のように、冷えた水が出てくるということがありません。何が出てくるかというと、常温の水や温かいお茶が出てくるのです。（中には何も出てこない店もあります。）

しかし、中国に冷たいものを飲む習慣がない、という訳ではありません。色々な店で、冷えたビールやソフトドリンクを購入することができます。例えば「ペットボトルの水をください」と露天にある雑貨屋さんに言うと、「温かいの？冷たいの？」と聞かれます。温かいの、と言うと冷やしていない、常温の水を売ってくれます。また、レストランでビールを注文するときも「冷たいの？」と確認されることがあります。中国では、冷たいものを飲む人もいれば温かいものを飲む人もいる、ということでしょうか。

・・・今回の話は、私の生活している済南市における私の感想・経験です。中国は広く、地域ごとに文化や習慣が異なりますから、私とは違った経験をされている方も多くいらっしゃるかと思います。私も機会があれば、様々なところに出かけ、もっともっと中国を知ることができれば、と思っています。では、またお会いしましょう。

国際交流まつり2012

世界とつながる 人とつながる

～夢と笑顔であふれる1日～

和歌山県国際交流センター主催による“国際交流まつり2012”が
12月16日（日）に県民交流プラザ和歌山ビッグ愛1階の
展示ホール・大ホールで開催されます。

国際交流員もブースを出展しますので、ぜひお越しください。
時間等詳細は国際交流センターのホームページでご確認ください。



<和歌山県国際交流センターホームページ> <http://www.wak-kokusai.jp/>

メルマガNo.6は、いかがでしたでしょうか。
文化国際課メールマガジンも、間もなく創刊1周年
を迎えます。

木々の成長に例えると、まだまだ小さく、頼りない
芽が出たばかり、というところでしょうか、今後も皆
さまに楽しんでいただけるよう、編集部一同、手塩に
かけて育てていきたいと思っておりますので、これか
らも気長にお付き合いいただければ幸いです。



クイズ! 海外豆知識! の解答

～中国編～

→答えは④です。

「中秋節」以外に、「秋夕」や「八月節」、「八月半」、「月夕」、「月節」などの名称もあります。④「蟬八節」は旧暦の十二月八日で、釈迦（仏教）が悟りを開いた日とされ、昔からこの日に「蟬八粥」（八宝粥）を作って食べる習慣があります。

～韓国編～

→答えは③です。

男の子が生まれると炭と唐辛子を、女の子が生まれると炭と松の葉を付けたクンジュルを飾りました。ちなみに、松の葉を付けるのは「裁縫の上達を願う」という意味があるそうです。